



高知県北川村役場
広報



ゆず香る里

北川村

またがわ

12 No.712

Dec 2025



北川村の人口・世帯数

令和7年10月31日現在 ()は前月比

人口	1,168人 (-2)
男	582人 (-2)
女	586人 (±0)
世帯数	623戸 (-3)
昨年同期の総人口	1,180人
昨年同期の世帯数	626戸

11月9日(日)小太郎とゆずの郷祭り(p2-3に関連記事)

祝100歳! おめでとうございます

令和7年9月29日に、野村律子さんが満100歳のお誕生日を迎えられました。

10月31日には、上村村長と民生委員の朴木三智さんが訪問し、内閣総理大臣からのお祝い状と銀杯、並びに村からのお祝い品を贈呈いたしました。

野村さんはハキハキとした口調でお話しくださり、大変お元気な様子でした。

今後のますますのご健康を心よりお祈り申し上げます。

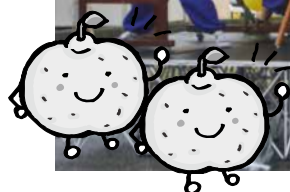


北川村 慎太郎とゆずの郷祭り開催

11月9日(日)に北川村総合保健福祉センターおよび中岡慎太郎館で『慎太郎とゆずの郷祭り』を開催しました。北川村にゆずの栽培を勧めたと言われている中岡慎太郎と北川村産ゆずのPRを目的としており、ゆず収穫の最盛期を迎えるこの時期に毎年行っています。

第1会場の総合保健福祉センターでは、ゆずを使ったおいしい料理や、やまなみ太鼓、よさこい演舞、大人気のゆずサイダー早飲みなど、楽しいステージイベントを行いました。

第2会場の中岡慎太郎館では100食限定のシャモ鍋、足湯体験を行い、雨の中約1,000人の来場がありました。





小学校

1 5・6年生 こんにゃく作り・田舎寿司作り

5・6年生の今年の総合学習のテーマは、「北川村の伝統的な料理を発信しよう」です。9月26日(金)に農業委員会の女性部の方に来ていただいて、こんにゃくの作り方を教えてもらいました。ゆでたこんにゃくいもを持って来ていただき、子どもたちはミキサーでつぶしたこんにゃくいもをひたすらこねて丸めた後、もう一度ゆでてこんにゃくが完成しました。出来たてのこんにゃくはとてもおいしかったようです。

10月21日(火)は、田舎寿司作りをしました。講師は國貞美智さんと用務員の濱渦美智子さんです。1つ1つの具材に下処理や味付けが必要なことがわかり、田舎寿司はとても手間暇かけて作られているからこそ、おいしいんだなあということを実感することができました。



2 知原先生の書道教室

9月下旬から11月にかけて、子どもたちは県展・村展に向けて、硬筆、毛筆、絵、工作など作品づくりに取り組みました。毎年、北川村在住の知原志津先生にお越しいただき、3年生から6年生が毛筆のご指導を受けています。

知原先生が書いてくださった自分の名前をお手本にして練習したり、県展の課題の字の形をしっかりと見て筆の入り方を練習したり、子どもたちはとても集中して一生懸命書くことができており、のびのびとした良い作品ができあがっています。中岡辻山展でも掲示していますので、ぜひご覧になってください。



3 美化活動(北川村教育連絡協議会)

10月29日(水)、保育所・小中学生・老人クラブ・婦人会・教育委員会・ボランティアの方たちと美化活動を行いました。保育、1～4年生はごみ拾い、5・6年生は慎太郎生家のそうじ、

中学1、2年生はカーブミラー拭き、3年生はモネの庭に分かれて、北川村をきれいにするためにみんなで取り組みました。ごみは多くありませんでしたが、たばこの吸い殻や空き缶等もありました。美化活動を行うことで、「道にごみを捨てない」、「公共のものを大切に扱う」等の公共のルールの確認や、ボランティア精神、また自分の住んでいる村を大切にする心を育むことにつながる活動となりました。ご協力ありがとうございました。



4 3年生 元気あふれる保育実習

10月1日(水)に、3年生がみどり保育所を訪問し、自分たちの作ったおもちゃなどで園児と触れ合ってきました。3年生が、おもちゃの遊び方など丁寧に教えている姿に、園児たちも身を乗り出して一生懸命に聞いていました。元気いっぱいの笑顔がはじけた保育実習でした。ありがとうございました。



5 2年生 近畿地方へ修学旅行

10月22日(水)～24日(金)の2泊3日で、修学旅行に行ってきました。1日目は、淡路島で震災学習や大阪のアンテナショップ「とさとさ」で北川村についてのアンケートを取らせていただきました。特に、アンテナショップ「とさとさ」での学習は、初めてのことでしたが堂々とお客様に話しかけてアンケートに答えてもらったり、北川村の商品を紹介したりしていました。2日目は、京都自主研修で金閣寺や清水寺など計画を立てて回り京都の魅力を堪能していました。そして、3日目は、淡路島のニジゲンノモリで楽しい時間を過ごしました。その土地に行かないと、学べないことや感じることをたくさん身に付けて帰ってきました。

これからの学校生活にも、生かしていってほしいと思います。



6 全校で総合学習、響く歌声、校内文化発表会!

11月1日(土)、校内文化発表会が行われました。今年は、総合的な学習の時間を全校で取り組みました。「福祉」～誰もが豊かで幸せに暮らせる活気あふれる北川村をめざして～をテーマに掲げ、グループで考え話し合い、その学びを村民の皆さんと共に楽しめる時間にしたいと考え、取り組みを発表することができました。

また、総合文化部の発表では、今までの取り組みの中に自分たちで作ったり調べたりしたことなど、ユーモアを交えて発表してくれました。全校美術で取り組んだ村営 EVバスのお披露目会もできて、会場の方からは「北川村のいいところや生徒の皆さんが考えた優しさが表現されていてとてもいいですね」「自分たちの絵が描かれたバスがずっと走るということは、皆さんが大人になってもいい思い出になると思います。村内外を走る日が楽しみです」と、温かいコメントをいただきました。音楽発表では、全員が一つになって気持ちを込めて歌いきり、体育館にその歌声が響き渡りました。

また、3年生からのサプライズもあり自分たちで創り上げた文化祭となりました。感想には、「新しい取り組み全校総合、楽しみです!」と応援の声もたくさんありました。これからも、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。



県民スポーツフェスティバル2025開催!!

県民スポーツフェスティバル2025が県内各会場で開催されました。北川村からは、クレー射撃競技とボウリング競技に出場しました。

出場者は、日ごろ練習してきた成果を大いに発揮し、見事な成績を収めました。入賞された選手の皆さん、おめでとうございます。

また、出場された選手の皆さん大変お疲れさまでした。



クレー射撃 (10月19日/ミロク高知射撃場)

トラップ団体 第2位 北川村A

浜渦 賢介 田所 謙二 岩垣 實男

トラップ個人 第2位 浜渦 賢介



ボウリング (10月5日、10月12日/ラウンドワン高知店)

準優勝 柿原 昇

高知大学出前公開講座

10月2日(木)、10月9日(木)、10月16日(木)に村民会館研修室で、高知大学出前公開講座を開催しました。北川村教育振興基本計画の基本理念である「生きる力と学びを育む北川村の教育」を実現するために実施している講座で、今年度は「防災」「健康」「子育て」をテーマに実施し、多くの方が受講されました。今回、全3回の講座を受講し、終了証書を授与された方はなんと、13人もいらっしゃいます。みなさん熱心に講座を受講され、より専門的な意識や理解を深めていただくきっかけづくりができました。

高知大学出前公開講座(オンライン版)のご案内

高知大学が行っている出前公開講座がYouTubeでどなたでも好きな時間に無料で視聴できます。普段の対面の講座(出前公開講座)に忙しくて行けない、いろいろな講師の話を聞いてみたいという方へおすすめです。

テーマは教育、自然、文化、歴史、健康など豊富なラインナップがあり、1本60分の講座となっております。以下のQRコードからHPをご覧ください!



高知大学出前公開講座(オンライン版) ウェブサイト

URL: <https://www.kochi-u.ac.jp/cersi/online-contents/index.html>

高知大学「たんねる舎」のご案内

高知大学たんねる舎～いつまでも学びたい、を応援するラジオ～

この番組は、FM高知とコラボし、いつでもどこでも、いつまでも楽しく学び続けていきたい皆さんを応援します。パーソナリティーは高知大学の卒業生であるFM高知の松本亮アナウンサーが担当し、高知大学の知をより多くの方へお伝えすべく、さまざまな分野を研究している高知大学の教員等をゲストに迎え、生涯を通じて学ぶ楽しさや学びのきっかけをご提供いたします!

YouTubeにてご視聴いただけますので、以下のQRコードを読み込み、ぜひご視聴ください!



YouTube高知大学たんねる舎プレイリスト

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLVbhLH5-p7wy7t8rtLeVrQwJft67HHI6q>

■ 問い合わせ先 高知大学次世代地域創造センター

Tel 088-844-8454 Fax 088-844-8556 E-mail: kt10@kochi-u.ac.jp

知らんけど



北川村教育委員会
公営探究塾「知らんけど」
担当：山本・北川

日曜市が終わり、次なるイベントは 11月に行われる「ゆずの郷祭り出店」と「東京 PR活動」です。どちらも、多くの方が来られるイベントで、北川村を PRするチャンスなので、日曜市での反省を生かして準備を進めています。

ゆずの郷祭りでは、東京 PR活動の仕入れに使う資金を準備するべくフライドポテトとゆずマヨソースをセットで販売します。仕入れに必要なお金を見積もり、そのためにはどのくらいの利益が生まれたらよいか、フライドポテトを販売するときの材料費はどのくらいかかるのかを計算し、フライドポテト1つの値段を割り出しました。また、お店の看板やフライドポテトの POPも手慣れた様子で分担して作成していました。

東京PRイベントでは、毎年行ってきたクイズをやめて、北川村アンケートを行うことにしました。このアンケートでは北川村やゆずの認知度を測ることが目的で、PR活動終了後もこの結果をもとに、さらに多くの方に北川村を知ってもらうためにはどうしたらよいかを考える材料になるのではないかと話し合っていました。また、村の特産品を 1,000円以上お買い上げの方に、モネの庭の入場券や村のグッズ、ウテナさんの商品が抽選で当たる、ハズレなしのくじ引き抽選会も行うことにしました。仕入れマネージャーが上手に交渉を行い、抽選会でプレゼントする商品も手に入れることができました。村の特産品の POPやイベントを知らせるパネル、北川村アンケートの模造紙、抽選箱、三角くじなど、作るものがたくさんありますが、メンバーで分担が決まると、みんな黙々と、そして手慣れた様子で制作を進めていました。去年も素敵な PRイベントでしたが、今年も新しいメンバーを迎えて、いろいろな角度から新しい意見が加わり、工夫が詰まったイベントになりそうです。「より多くの人に北川村の魅力を知ってもらう」ことができるように、メンバー全員で頑張ります。そして、今年も 11月 4日からウテナさんと共同開発したハンドクリームが全国のウエルシアグループのドラッグストアで発売されます。村内では、モネの庭・北川村温泉・ゆずの花・慎太郎食堂にて販売されます。デザインも中身の成分・香りもリニューアルされているので、ぜひお試しください。

10月初旬に稲刈りをさせてもらったお米で、この食育活動に協力してくださった方をお招きして、おにぎりパーティーを行いました。新米の香りや甘みを味わいながら、みんな笑顔でおいしいおいしいと頬張りました。お米のおいしさやありがたみを改めて教えていただきありがとうございました。



議会だより

発行責任者

議長 岩垣 實男

令和7年・

第3回議会定例会

令和7年9月定例議会は、9月10日に開会し、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告、北川村教育委員会の自己点検・評価について、一般会計補正予算ほか令和6年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定についてなどの議案の審議が行われました。

11日には、2氏が3件の一般質問を行い、閉会しました。



上村 誠 村長

・行政報告・（抜粋）

■むらづくりの推進

○人口減少対策について

村政の最重要かつ喫緊の課題である人口減少対策については、短期間で成果が得られるのではなく、施策を強化しながら着実に継続的に取り組んでいく必要がある。

そのためには、施策に携わる職員の企画立案力と事業遂行能力の向上を図ることが重要であることから、各部署を横断したプロジェクトチームである「むらづくり推進委員会」を通じて「村の永続」と「業務改善」に取り組んでいる。

今年度は、各所属長及び補佐によるシニア部会と若手職員による若手部会の2部会で活動を行っており、シニア部会では、昨年度の職員アンケートをもとに業務改善について検討を進め、実行できるものから順次、実施する。

若手部会では人口減少対策の新たな施策の検討を進めている。今後は先進地の視察を実施し、そこで得られた知見なども参考にしながら、新たな施策案の取りまとめを行う。取りまとめられた施策案については、

シニア部会と連携して議論を深め、実現性が高く、効果が期待できる施策については、来年度の事業化を目指す。若手職員が先進的な取り組みを学んだ上で政策立案に関与することは、人材育成にもつながるものと期待している。

○事業創出支援業務について

今年度から開始した事業創出支援業務については、新たな産業や雇用の創出、村外からの移住、関係人口の創出につなげるため、北川村の資源などを活用したローカルビジネスプログラムを実施し、現在8人（村外5人、村内3人）の方に参加いただいている。

9月6、7日には、本村の地域資源把握のため、モネの庭やゆず農家、空き家などの視察を行った。今後も、ビジネス講座や本村でのフィールドワークなどを重ね、北川村で実現可能なビジネスプランを取りまとめ、12月に事業計画を発表する予定。

○地域脱炭素先行地域事業について

北川村脱炭素事業推進プロジェクトにおける事業者向けZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化補助事業について、1事業所から申請があった。災害時の電源供給に協力することを条件として、太陽光10キロワット及び蓄電池15キロワットアワーの整備を行った後、NearbyZEBの認証を取得する計画で、今年度末に完成予定。

また、各ご家庭などの省エネ化に向けた家電購入補助に関する7月末現在の交付決定状況は、電気自動車3件、エアコン19件、給湯器8件、LED27件。昨年度を上回るペース

で順調に申請をいただいている。

民生部門の脱炭素化を推進していくためには、村民の方々の意識の醸成も必要であるため、納涼祭において、家電購入の補助金や小水力発電施設の整備を含め、村の取り組みについて広報を行った。今後も周知を行い、再生可能エネルギーの導入や省エネ化の促進を図り、民生部門における脱炭素推進に向けて取り組む。

■第1次産業の振興

○農業研修生

起業家農業者については、10月より新たに1人が研修を開始する。故に現時点で、本年度の受け入れは2人、累計13人。

9月7日に東京で開催された「高知県東部移住フェア」に参加し、本村の魅力や移住の受け入れ体制についても積極的にPRを行った。その結果、本村での就農に関心を示された方がいたので、補正予算において1人分の受け入れに係る経費を計上した。

移住による就農も含めた新規就農者については、本村の農業を支える重要な担い手であり、将来的な産業構築モデルとしての役割も期待している。今後も新規就農者が高い意識と明確な目標を持って取り組めるよう、県農業振興センター及び農協と連携した巡回活動や経営状況の確認など、継続した支援を行う。

○優良園地の確保について

これまで第2期北川モデルほ場整備において課題だった、基盤土の固め過ぎと表土層の不足について、農林水産省中国四国農政局

及び県に対して、議長とともに要望活動を行い、現在、工事中の島地区から設計の見直しが行われるなど、速やかに必要な箇所への対応が図られている。

優良園地の確保は農業者の所得向上に向けた取り組みの一丁目一番地となるので、国への予算確保などの要望とともに、今後も良好な園地の整備が着実に進むよう、事業主体である県への働きかけを継続していく。

■生活基盤の整備等

○野友地区の奈半利川堤防整備について

整備の実施主体である県は、令和3年に開催した住民説明会から一定の期間が経過していることを踏まえ、進捗状況や今後の進め方について、8月26日に地元説明会を開催した。今後、県は工事計画の策定を進め、本年度内に改めて説明会を開催する見込み。

○宅地造成について

人口減少対策の一環として野友角木地区に整備する宅地造成について、7月に造成工事の契約を締結し、8月に表土のはぎ取りが完了、9月1日から造成に必要な土砂の搬入を開始している。

今後は造成地内の道路整備や用水路の付け替えなどを進め、令和8年度中の方譲開始を目指して取り組む。

○簡易水道の断水について

8月3日に発生した簡易水道の断水については、復旧に時間を要したため、給水区域の皆さまに大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びする。

今回の断水は、複数の要因が重なって発生したもの。まず主電源の漏電ブレーカーが経年劣化により電源を遮断したことで、取水ポンプが停止。さらにエンジンに不調が生じ、予備電源である自家発電機も停止するなどの要因が重なった結果、断水が生じた。

村としては、今回の事案や村全体の水道施設における老朽化が進んでいることを踏まえ、デジタル技術を活用した監視装置の整備や、定期的な施設点検に基づく予防保全の計画修繕を確実に実施し、安全で安定した飲料水の供給体制の確保に努める。

■防災・地震対策

○個人住宅の耐震化

耐震強化期間2年目となった個人住宅の耐震化については、7月末現在、診断6件、設計4件、改修工事2件が完了。補助額の引き上げによる自己負担の軽減を図っていることから、順調に申請をいただいている。引き続き、地域の住環境の改善・防災対策の向上に取り組む。

■日本一元気な長寿村づくり

特定健診の受診率は、6月受診分までの速報値で44・3%と、前年度比4・1ポイントの増加。

集団健診については、南部、北部合わせて218人の方に受診いただいた。前年度と比較し、後期健診6人、特定健診1人、若年者健診5人、全体では12人の増加となった。

受診率が向上したことで生活習慣病の早期発見や重症化リスクの高い方への早期介入が可能となり、適切な保健指導の実施につ

なげることができている。村民の健康に対する意識の高まりを感じており、今後も受診率のさらなる向上に努める。

○保健事業と介護予防

あつたかふれあいセンター事業と連携した高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、今年度は認知症をテーマに、健康運動指導士や北川村食生活改善推進協議会、中芸広域連合地域包括支援センターなどを講師に迎え、運動習慣の定着、食生活の改善、認知症になっても地域で暮らせる取り組みの紹介等を行っている。

8月末現在9会場で20回実施し、初めて参加された9人を含む延べ130人に参加いただいた。初めての参加者からは「脚や腰などの不調について聞くことができた。次も参加したい」といった前向きな意見が寄せられた。全般では「家にあるもので簡単に作れるレシピなので助かる」「先生の話を聞いて姿勢を意識したら歩くのが楽になった」といった好評価を多数いただいている。



今年度は年間で51回の実施を予定しており、残る31回についても、より多くの住民の皆さまに参加いただけるよう、広報活動を積極的に展開していく。

今後も、生活習慣病の予防と早期発見に向け、村民全体への情報発信や啓発を継続するとともに、リスクの高い方には個別の健康相談を実施し、村民の皆さまが健やかに暮らせる村づくりを目指す。

■観光の振興

○北川村納涼祭

8月30日に北川村納涼祭が2年ぶりに開催され、村内外から約500人の方に来場いただいた。村のイベントには欠かせないやまなみ太鼓がオープニングを飾り、保育園児や村のダンスグループをはじめとした催し、また猛暑の中、各種団体の皆さまに出店いただくなど、会場は大いににぎわった。

○北川村「王ネの庭」マルモッタン

8月、文化観光推進法に基づく拠点計画が文化庁から認定された。今後は2030年の開園30周年という大きな節目を見据え、計画に基づき当園のさらなる魅力向上と来園者の増加に向けた整備を実施する。

6月から8月末までの入園者数は57,730人（対前年同期比103・2%）。指定管理者からは、台湾からの定期チャーター便やクルーズ客船によるインバウンドの受け入れを強化し、来園者数の増加を図っていく方針と聞いている。

○北川村温泉

北川村温泉ゆずの宿の6月から8月末までの利用者は6,097人(対前年同期比103・6%)。

これは、食事が高く評価されていることに加え、スタッフのサービス向上への継続的な取り組みにより、リピーター客の増加につながっていることが要因だと聞いている。

課題となっている人員確保については、5月に1人を新たに採用したが、依然として人員不足の状態が続いている。村ではワーキングホリデーを募集しているが、いずれも現時点では採用には至っていない。しかしながら制度に関する問い合わせは継続して寄せられているので、引き続き募集を続けていく。

■教育関係

○英語学習

中学校での英語学習について、福島県にある、「パスポートのいらない英国」として知られるブリティッシュヒルズにおいて、中学生7人が8月に合宿形式の外国語研修に参加した。研修当初は、施設内の全ての会話が英語で行われる環境に戸惑う様子も見受けられたが、徐々に慣れ、積極的に英語でコミュニケーションを取ろうとする姿が見られた。

語学力の向上だけでなく、異文化に対する理解や主体的に学ぼうとする姿勢を養うなど、学習への意欲向上にもつながる、大変有意義な体験となった。

今後はこの経験を生かし、英語検定の取得を目指すほか、将来的には海外での研修の実施など、一層外国語への関心を高める活動を展開し、よりグローバル化される社会を生

き抜くことができるよう、子どもたちを育んでいきたいと考えている。

○マスタープラン策定

15年間の一貫した子育て・教育環境の実現について、令和2年度に策定した「子育て・教育ビジョン」に基づき、昨年度末には、ビジョンの実現に向けたソフト面での実施計画であるマスタープランを作成した。現在、このマスタープランに掲げる7つの柱を中心に、取り組みを進めている。

一方で、ビジョンの実現に向けたハード面においては、校舎や小中共同調理場などの主要な教育施設が築50年を経過するなど、より快適な教育環境の実現に向けて改善が必要な箇所がある。

そのため、7月1日付で文部科学省より派遣された職員を「子どもの学び魅力化プロジェクトチーム」のリーダーとして任命した。今後は、ビジョンを実現するための施設整備を含めた基本計画策定に取り組む。

基本計画の策定にあたっては、まず耐力度調査の結果を踏まえた上で、教職員や村民の皆さまのご意見を伺う。認定されている脱炭素促進事業による施設のZEB化を視野に入れ、新たに設置する検討委員会において議論を重ねていく。

○中岡慎太郎館

8月末までの入館者数は2,589人(対前年度比△3%)。

10月には、中岡慎太郎の伝記を日本で初めて執筆した北川村出身の尾崎卓爾にスポットをあてた企画展を計画すると聞い

おり、さらなる中岡慎太郎の顕彰と広報の充実に期待している。

■中芸広域連合関係

以下の事業について報告

- ①消防救急業務について
- ②火葬場業務について
- ③介護保険業務について

■工事発注等の状況(9月1日時点)

工事関係(工事・委託業務)発注状況

区分	総件数	発注件数	完了件数	発注率	完了率
現年予算	22	11	5	68・2%	45・5%
繰越明許費	15	11		100%	

・一般質問・



和田 和恵 議員

子どもの学び魅力化プロジェクトチームについて

■ 子育て教育環境の整備について、令和7年7月より、文部科学省から新たに職員1人を受け入れ、プロジェクトチームを設置したとのことだが、今後どのように取り組みを進めるのか方向性を問う。

答 教育長

施設の老朽化やZEB化を含めた保育教育施設の一体化を計画的に推進するために、堂脇次長補佐をリーダーとするプロジェクトチームを編成して活動をスタートさせております。今まで具現化できていなかった教育環境をしっかりと描いていくことで、魅力的な一体化を図ってまいります。例えば、15年間の食育に求められる環境、少人数教育や多年齢教育を進める中で求められる校舎など、これらを整えながら進めてまいります。検討の方向性としては、北川学をはじめとした小中一貫の教育課程を編成して、保育一体型の義務教育学校を目指します。

問 主要な教育施設が築50年を経過している今、いずれにしても手を入れなければならぬと思う。耐力度調査の結果によっていろいろな判断が行われると思うが、これまでに多くの住民の皆さんが参加したワークシヨップが行われており、高知市教育長となられた永野氏を座長とした基本計画策定委員会が行われ、取りまとめられた計画書がある。当然これら特にワークシヨップで得られた意見は、今後の検討資料として取り込むものと思うが、どのように考えているか。

答 教育長

耐力度調査という具体的な診断結果は重要な判断材料になると考えております。また、特色ある教育課程の実現や魅力ある教育施設を重視した先進地視察を今後進めてまいります。獲得できた多くの情報や資料も基本計画に活用してまいります。そして、かなりの協議の上につくられた前回の基本計画がございまして、それを生かしながら、さらにバージョンアップした基本計画となるようにつくり上げてまいります。

問 教育課程の編成方針との整合を持たせる、先駆的な取り組み、中山間地域モデル校として期待されている。これらの視点から、施設設備の整備をどのように考えているか。

答 教育長

少ない児童生徒数でもしっかりと学力保障が実現できること。言いかえれば、少ない児童生徒だから数多くのアプローチや児童生徒自身の反復力と主体性の高まりに

より学力が定着するということ。グローバル化する社会を生き抜くために英語及びフランス語で日常会話が可能で語学力を養うことができること。地域資源活用で北川学的な充実を図ることや、カリキュラムマネジメントを実施することで、9年間の系統的な活動内容の視覚化と課題解決能力の向上を図ること。ICT機器の活用で実現する他校や海外との接続、オンライン学習の活用で授業から続く放課後学習や家庭学習につなげて学力向上を図ること。地域との連携や地元産業の理解を通じた郷土愛を育むプログラムや体験活動を通じた郷土愛を育むプログラムや食育など、村のオリジナルを反映させた教育課程の編成や実践を行うこと。村や学校で実践する活動を通じたキャリアデザインによる自立した社会接続能力を身に付けること。これらにより、これまでとは違った社会を生き抜く能力を身に付けて、3人に1人が村に帰ってくることでできる教育の実践ができれば、中山間地域のモデル校として認知されると考えております。これらがさらに充実するように、より快適な教育環境の充実に向けて、少人数や多年齢による交流的な環境、探求力を向上させながら学ぶ意欲が高まる施設となるように進め、築き上げた教育システムが効果的に実践できる施設整備に取り組んでまいります。

問 施設整備基本計画の策定を今年度行うと聞いているが、今後どのように進めていくのか。その取りまとめの過程で12月定例議会

の後で説明をもらいたいと思うがどうか。

答 教育長

教職員のヒアリングや住民とのワークシヨップ、検討委員会を今後進めていきまして、耐力度調査結果を踏まえながら、外部専門業者による業務支援を受けて、施設整備基本計画を取りまとめまいります。今後のスケジュールや進捗状況は、12月定例議会の前後で説明をさせていただきます。

問 検討委員会や住民の皆さんとのワークシヨップでは、活発な意見をたくさんいただ

けるよう工夫をしてもらいたい。20年、30年たったときに、質的に本当に大丈夫だといわれるように、今回このように検討してきた結果が子どもたちのためによりよい環境をつくるという学び舎をつくり上げてもらいたい。

答 教育長

意見を聞くメンバー、人数等については今協議中ですが、それぞれの意見を拾い上げられるような、そういう環境の検討委員会を構成したいと考えております。また20年、30年と時間が経過しても、質は下がらない、子どもたちの目が輝く本当に笑顔あふれるすばらしい学び舎を目指していきたいと考えております。

北川村公式ホームページについて

問 当初予算でホームページのリニューアルをすることとなっていたが、その進捗状況はどうか。また、現在のホームページは、長年にわたり更新がされていない箇所が見受けら

れるなど、正しい情報発信ができていないと思われるところがあつたが、リニューアル後の更新についてどのように考えているか。

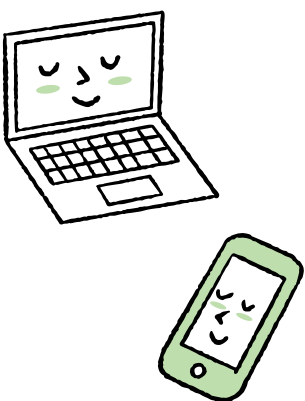
答 村長

現在の村のホームページはスマートフォンに対応しておりません。また、他市町村と比べご覧いただく際に目的などにより検索しにくいといった声もあるため、今年度リニューアルすることいたしました。

リニューアル業務につきましては現在の保守業者である株式会社シテイネットと6月20日に231万円で契約し、現在、パソコン及びスマートフォンで閲覧する際のデザイン、レイアウトを詰めている段階でございます。

今後は10月上旬までに各担当課が掲載する情報を精査し、12月下旬に完成する予定となっております。

また、更新後のホームページにつきましては各担当課において随時更新できるようにすることや、現在の村ホームページのように、古い情報が残っていることがないように定期的にチェックする機会を設けるようにすることも、更新作業にあわせて検討しているところです。





尾崎 一マ 議員

小水力発電整備による電力の 村民利用について

問 各施設蛇谷、矢筈、宗ノ上、平鍋、それぞれの事業費はいくらになるのか、また、4基で総事業費はいくらか。

答 村長

現在環境省に提出しております各小水力発電施設の計画提案書上の対象事業費と交付限度額(補助金)をお答えします。

まず宗ノ上は9億6,239万4,000円、交付限度額7億2,179万5,000円。蛇谷は9億7,357万、交付限度額7億3,017万7,000円。矢筈谷は10億8,996万4,000円、交付限度額8億1,747万3,000円。平鍋は8億4,700万円、交付限度額6億3,525万円となっております。合計38億7,292万8,000円、交付限度額29億4,699万5,000円です。

なお参考ですが、補助金の財源につきまして、矢筈谷、宗ノ上については、過疎対策事業債があたりますので、トータル9億6,823万3,000円。そのうち5億1,290万円が過疎対策事業債、残る4億5,533万3,000円が一般財源となります。

問 それぞれの施設の発電規模はいくらか。

答 村長

計画提案書上の発電として、宗ノ上は設備能力200キロワットに対し、年間発電量が119万1,148キロワットアワー、蛇谷は設備能力200キロワットに対し、年間発電量が114万706キロワットアワー、矢筈谷は設備能力180キロワットに対し、年間発電量が106万9,283キロワットアワー、平鍋は設備能力160キロワットに対して、年間発電量110万キロワットアワーとなっており、合計年間発電量が450万1,137キロワットアワーとなります。

問 今想定している村民利用は何戸ぐらいか。1,800戸ぐらいを想定していると考えるが、どのように賄われるのか。

答 村長

計画提案書上は住宅549戸、民間施設68施設、公共施設51施設を見込んでおります。民生部門の電力需要量は年間503万448キロワットアワーを推計しています。概ねの内訳は、個人住宅が248万キロワットアワー、公共施設が118万2,000キロワットアワー、民間オフィスが136万8,000キロワットアワーとなっております。

問 発電量450万に対して、民生施設全体でいつと503万かかるということと、発電能力を上回るものが実際の使用量としてかかる。足りない分は四国電力から供給するという使い方になるのか。

答 村長

発電量と使用量の差については、あくまで理論上ですが、太陽光や省エネ家電でクリアできると考えております。

小水力発電量に対する需要量のバランスについては、季節や時間帯によって異なってくるものと考えており、現在共同提案者の四国電力株式会社と協議を行っているところです。

問 太陽光発電と蓄電池を各家庭で設置する補助事業があるが、その場合電気代は少しでもカバーできるのか。

答 村長

太陽光発電を設置された場合、まず優先的にそちらを活用していただき、不足が出た場合には、村のほうで今取りまとめをしようとしている電力を使っていただけのように働きかけていきます。

問 小水力発電の電力の契約について、全戸が契約をするのか、任意になるのはなぜか。

答 村長

現在、少しでも安く提供できるように協議をしておりますので、その契約をさせていただきたいのが、村の考え方です。ただ、どうしても現在の電気を使わなければならないご家庭等がございましたら、必ず契約してくださいとは言えないものだろうと理解しております。

問 今よりも少しでも負担が軽くなることを前提に、村民たちへの小水力発電の電気の供給と考えていいのではないか。

答 村長

今年度末ぐらいまでには、標準家庭でどれぐらいの金額になるのか、どれぐらい還元できるのかを示したい。一般的な電気代と比べて同等以下にしたいと取り組んでおりますので、高くなることはないといふふうに考えております。

問 電気料金や契約の内容など見通しがついた時点で、住民向けの分かりやすい説明会を開いてほしい。

答 村長

26年の3月末までに、北川村における一般家庭の標準世帯での金額がどのぐらいになるかを示したいと考えております。また電気代につきまして、通常四国電力が表示しているように基本料金、利用に対するキロワットアワーでいくらという形の表記になると考えております。

・議案審議・

◇報告◇

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、健全化判断比率及び資金不足比率について報告するもの。

北川村教育委員会の 自己点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会の自己点検・評価について報告するもの。

◇ 契 約 ◇

北川村消防ポンプ自動車購入 業務契約の締結について

物品購入契約の締結について、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議決を求めるもの。

契約の相手 高知消防システム株式会社
契約金額 26,840,000円

↓ 全員賛成(原案可決)

◇ 人 事 ◇

北川村教育委員会委員の 任命について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により同意を求めるもの。

濱渦 峯子 氏

↓ 全員賛成(原案同意)

北川村固定資産評価審査委員の 選任について

地方税法第42条第3項の規定により同意を求めるもの。

濱渦 正 氏

↓ 全員賛成(原案同意)

◇ 条 例 ◇

北川村看護師養成奨学金貸付条例の 制定について

安芸圏域における看護師不足の解消を目指し、将来にわたり地域医療を支える看護師を確保するため制定するもの。

↓ 全員賛成(原案可決)

◇ 補 正 予 算 ◇

令和7年度北川村一般 会計補正予算(第3 号)について

脱炭素事業の推進のため、村有施設の再エネ設備導入の補助や文化観光拠点施設機能強化事業に係るモノの庭整備に要する経費等を計上するもの。

↓ 全員賛成(原案可決)

■令和7年度 補正予算

会計名	補正額	補正後の額
一般会計(第3号)	211,726 千円	3,922,297 千円

◇ 決 算 ◇

令和6年度歳入歳出決算について、所管課より当該事業年度における主要な施策の成果の概要を踏まえ各事業の説明を受け審査を行った結果、全員賛成で「認定」と決定した。

令和6年度北川村一般会計歳入歳出 決算の認定について

令和6年度北川村代替輸送特別会計 歳入歳出決算の認定について

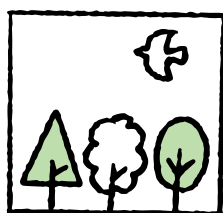
令和6年度北川村国民健康保険特別 会計歳入歳出決算の認定について

令和6年度北川村後期高齢者医療特 別会計歳入歳出決算の認定について

令和6年度北川村簡易水道事業会計 決算の認定について

■各会計決算の状況

会計名	歳入	歳出
一般会計	2,979,658 千円	2,897,335 千円
代替輸送特別会計	30,585 千円	30,575 千円
国民健康保険特別会計	213,869 千円	212,335 千円
後期高齢者医療特別会計	29,683 千円	29,170 千円
簡易水道事業会計	事業収益	事業費用
	33,810 千円	23,307 千円
	資本的収入	資本的支出
	115,931 千円	59,400 千円



◆意見書◆

精神障がい者保健福祉手帳所持者に対する精神科医療費および一般医療費への助成制度（重度心身障害者医療費助成制度）への意見書

↓ 全員賛成（可決）

提出先…高知県知事

◆活動報告◆

■総務産業建設常任委員会

◆日時 令和7年8月28日（木）～29日（金）

◆内容 総務産業建設常任委員会視察研修
南海トラフ地震に備え、令和6年能登半島地震を経験した石川県珠洲市にて、被災後の住民ケアや仮設住宅など復興支援の状況を視察。



◆内容 「人口2/3激減時代の到来と『新』成長戦略」

講師 野村証券（株）金融公共公益法人部

主任研究員 和田理都子 氏

■高知県市町村議会議員研修会

◆日時 令和7年7月31日（木）

◆場所 県民文化ホール

◆内容 「地方議会の役割

— 地方の改革は議会から—

講師 早稲田大学名誉教授

北川 正恭 氏

◆学習会◆

■公営企業会計決算研修会

◆日時 令和7年7月7日（月）

◆場所 役場会議室

◆内容

公営企業会計（簡易水道事業）決算について、決算書の見方など専門家より説明を受け理解を深めた。

講師 株式会社ぎょうせい

四国支社 片岡 氏

令和7年

第2回議会臨時会

令和7年第2回臨時会は、7月30日に開会し、工事請負契約の締結等について審議を行いました。

・議案審議・

◆契約◆

宗ノ上地区小水力発電施設整備工事
請負契約の締結について

工事請負契約の締結について、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議決を求めるもの。

契約の相手 田所・金本特定建設工事

共同企業体

契約金額 874,500,000円

↓ 賛成多数（原案可決）

角木団地宅地造成工事請負契約の締結について

工事請負契約の締結について、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議決を求めるもの。

契約の相手 有限会社 浜渦工務店

契約金額 228,800,000円

↓ 賛成多数（原案可決）

◆補正予算◆

令和7年度北川村一般会計補正予算（第2号）について

学校の熱中症対策及び中岡慎太郎館の雨漏り修繕に要する経費を計上するもの。

↓ 全員賛成（原案可決）

■令和7年度 補正予算

会計名	補正額	補正後の額
一般会計（第2号）	1,761千円	3,710,571千円

◆研修◆

■安芸郡町村議会議員等研修会

◆日時 令和7年7月2日（水）

◆場所 安田町文化センター

令和7年6月議会以降の岩垣實男議長会務報告

6月12日(木) 第2回定例会(北川村庁舎)

～13日(金)

6月16日(月) 市町村振興協会令和7年度第2回評議委員会(高知自治会館)

6月17日(火) 中芸広域連合議会運営委員会(中芸広域体育館)

6月19日(木) 令和7年度社会福祉協議会定時評議委員会(北川村保健福祉センター)

6月20日(金) 高知県町村議会議長会正副会長会・理事会・監査(高知県自治会館)

6月24日(火) 中芸広域連合議会6月定例会打ち合わせ(北川村庁舎)

6月25日(水) 高知県市町村総合事務組合議会臨時会／高知県町村議会議長会臨時総会(高知県自治会館)

6月26日(木) 主要地方道安田東洋・魚梁瀬公園線整備促進期成同盟会監査(北川村庁舎)

6月27日(金) 中芸広域連合議会6月定例会(中芸広域体育館)

6月30日(月) 吉備中央町視察受け入れ(北川小・中学校)

7月2日(水) 令和7年度安芸郡町村議会議員等研修会(安田町文化センター)

7月3日(木) 主要地方道安田東洋・魚梁瀬公園線整備促進期成同盟会令和7年度総会(安田町文化センター)

7月7日(月) 公営企業会計決算研修会(北川村庁舎)

7月8日(火) 安芸土木事務所打ち合わせ(北川村庁舎及び現地)

7月11日(金) 令和7年度奈半利川水利対策協議会総会(田野町ふれあいセンター)

7月15日(火) 安芸土木事務所打ち合わせ(北川村庁舎及び現地)

7月24日(木) 第2回臨時議会打ち合わせ(北川村庁舎)

県河川課現地打ち合わせ(野川川、西谷川)

7月30日(水) 第2回臨時議会(北川村庁舎)

7月31日(木) 高知県市町村議会議員研修会(県民文化ホール)

8月3日(日) 令和7年度中芸広域連合消防大会(中芸広域連合消防本部)

8月5日(火) 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟(6日(水) 本省要望(東京都／国土交通省他)

8月18日(月) 北川村議会全員協議会議長レク(北川村庁舎)

8月19日(火) 主要地方道安田東洋・魚梁瀬公園線整備促進期成同盟会【高知県土木部長要望】(高知県庁)

8月19日(火) 農業農村整備事業関係予算確保要望(東京都／農林水産省他)

8月25日(月) 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟令和7年度総会・整備促進大会(ホテルタマイ)

8月26日(火) 北川村議会全員協議会(北川村庁舎)

8月28日(木) 総務産業建設常任委員会視察研修(石川県珠洲市)

8月29日(金) 北川村納涼祭(北川村保健福祉センター)

9月1日(月) 北川村歳入歳出決算審査意見書等提出(北川村庁舎)

9月2日(火) 北川村議会運営委員会(北川村庁舎)

9月6日(土) 北川村敬老会(北川村民会館)



議会を
傍聴して
みませんか

議会では、年4回(3月・6月・9月・12月)の定例会と臨時会が開かれています。

皆さんが明るく住みよい暮らしができるように、皆さんから出された意見を聞き、質疑等を通じて、村の予算や契約、条例などの最終的な決定をしています。村の仕事は議会と村長が互いに意見を出し合い、協力して進めます。

本会議の開始時間は午前10時です。会議の様子を直接見たり、聞いたりできます。

令和7年第3回定例会の傍聴者は一人。

次回、令和7年第4回定例会は12月です。ぜひ、傍聴に足をお運びください。

モネの庭 お知らせ



冬期メンテナンス休園と改修工事のお知らせ

モネの庭では開園30周年に向けて5年計画で大規模改修を実施することとなりました。改修工事は冬期休園中に実施されます。今年度は「花の庭」と「駐車場」のリニューアル工事が行われます。「花の庭」は、本家モネの庭の庭園管理者より助言をいただき、花壇の一部変更やバラ棚の新設を予定しています。



+++ 冬期休園 +++

12月1日～2月28日

※ただし、12月6日(土)・7日(日)のみ開園。夜間イベントも同日開催。



【予約制】冬のガーデニング教室

クリスマスや年末年始の玄関先に飾る寄せ植えを作ってみませんか？

詳しくはHPをご覧ください。

■開催日時：12月6日(土)・7日(日)10:00～12:00

■参加費：5,500円(税込)

※特別ランチ2,500円(税込)

【完全予約制・ランチはオプションです】



【夜間イベント】モネのナイトキャンバス～Forest Wedding～森の祝福～

紅葉した木々が美しい季節です。黄昏時の風景と幻想的な夜のライトアップが彩る「モネの庭」の風景をお楽しみください。



■12月の開催日

12月6日(土)・7日(日)

■開催時間

17:00～20:30
(最終入園20:00)

■入場料

一般1,500円・小中学生500円
(村民パスポートご提示で無料)



リヴィエラの小屋で見る夕日もおススメです



Forest Wedding(森の結婚式)をイメージ



【お問い合わせ】

北川村「モネの庭」マルモッタン

〒781-6441

高知県安芸郡北川村野友甲1100番地

☎0887-32-1233 ☎0887-32-1243

<https://www.kjmonet.jp/>

★休園日：12月～2月末日

★SNSで日々の庭情報発信中。ぜひご覧ください♪



北川村文化観光公社 NEWS ニュース

NEWS

1 文化放送ラジオにて村をPR

11月3日(月)に東京の文化放送ラジオにて放送されている「稜海(りょうかい)しました！超特急QR(ちょうとっきゅうあーる)」にて北川村のPRをしていただきました。

男性アイドルグループの「超特急」のメンバーのカイさん、リョウガさんの番組で、お2人には北川村の紹介や特産品の試飲などを行っていただいただけでなく、有料配信向けの動画配信でも村のこと、特産品にふれていただきました。

番組を通して全国でラジオを聴いているお2人のファンをはじめ、リスナーの方々に北川村のことを知っていただくきっかけになりました。

ON AIR

稜海しました！
超特急QR

NEWS

2 RKCラジオ「北川村week」が放送されました

11月3日(月)～7日(金)の5日間、RKCラジオ「とさこちラジオ」、「ぶちぬきFRIDAY」の中で「北川村 week」を放送しました。慎太郎キッチンカーから始まり、きたがわマルシェ、慎太郎とゆずの郷祭り、東京での北川村フェア、ゆず農家さんなどに生放送の電話出演を、金曜日は慎太郎館の豊田学芸員がスタジオ出演、午後はラジオカーが村内を回り、温泉、モネの庭についてそれぞれの担当の方に、北川村の「今」を伝えていただきました。ゆず収穫、イベント等でお忙しいところ対応いただきありがとうございました。



北川村文化観光公社 TEL & FAX 0887-30-1972 (スタッフ 和田・伊藤・野戸・橋本・山脇・町田・濱崎)

【日本遺産フェスティバルin倉敷に参加しました】

10月25日(土)・26(日)に岡山県倉敷市で開催された日本遺産フェスティバルに参加しました。

日本遺産フェスティバルは全国の日本遺産地域が集まって情報発信するイベントで、オープニングセレモニーでは、倉敷市の日本遺産の構成文化財「下津井節」の演奏・演舞、株式会社QuizKnockの伊沢拓司さんの基調講演、倉敷の過去・現在・未来についてのトークセッションなどが行われました。

各日本遺産地域がそれぞれPRを行う会場では、パンフレット配布、ワークショップ、試飲・試食、地場産品やオリジナルグッズの発売・頒布など多種多様なPRが行われ、多くの方が楽しんでいました。日本遺産ゆずとりんてつは、構成文化財の写真を展示しながら、パンフレットの配布、オリジナルグッズや中芸地域の商品の販売を行いました。「高知は何度も行ったことがあるけれど、こんなところがあるなんて」と次回の旅行先として前向きに考えてくれていそうな方が何人もいらっしゃいました。

各日本遺産に関する公開講座やテーマ別のミニシンポジウムも行われ、2日間で5万人の来場があったそうで、たくさんの方に日本遺産ゆずとりんてつを知っていただけたのではないかと思います。



PRブースの様子



多くの来場者でにぎわいました



公開講座の様子



会場を練り歩き、ご利益を授ける「素隠居」

お問い合わせ先：

中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事務局 (安田町役場日本遺産推進室内)

TEL : 0887-30-1865 FAX : 0887-30-1866

メール : yuzurintetsu@mk.pikara.ne.jp

HP : <https://yuzuroad.jp/>

Q ゆずとりんてつ 検索

HP



Facebook



Instagram



ガイドツアー



中岡慎太郎先生顕彰会だより

中岡慎太郎先生顕彰会 0887-38-2413



慎太郎茶会 ～師走～

12月の慎太郎茶会は下記のとおり開催いたします。

今回のお茶菓子は、京都にある和菓子屋『まるに抱き柏』さんが造る、北川村産のゆずを使ったゆずまんじゅうでおもてなし。年末の忙しい日々の合間に亭主のたてるお抹茶で一服しませんか。

皆様のご来場、心よりお待ちしております。

イベント詳細

- 開催日時：令和7年12月13日(土) 10:00～15:00
- 会場：中岡慎太郎生家
- 参加費：一服500円(茶菓子付き)
- 亭主：中村 武志



★詳しくは中岡慎太郎先生顕彰会Instagramをご覧ください。



集落支援員日記

『いこいの里』焼き芋畑から今年もたくさん収穫ができました！

北部地区集落再生コーディネーターの吉永みことです。

『いこいの里』の焼き芋は、「広場で冬場に焚き火をしたら暖かいね」「それなら焼き芋ができるね」という集落住民さんの何げない一言から始まりました。最初は、皆さんの畑から持ち寄ったサツマイモを焼いて、一緒に食べるという素朴な集まりでした。

ゆずの収穫シーズンも一段落する12月中旬。寒い時期ではありますが、暖かい火を囲み、ホクホクの焼き芋を頬張る喜びは格別です。

この冬の楽しみを集落活動として定着させたいと、2023年からは『いこいの里』の敷地内にサツマイモの苗を購入し、「焼き芋畑」を作り始めました。初年度は予想外の豊作で管理に苦労しましたが、翌年からは、購入する苗の数を計算して畝を作り、お米屋さんから譲っていただいたもみ殻で保管するなど、皆で知恵を出し合い、試行錯誤を重ねてきました。

また、よりおいしくするために、苗の品種にこだわり、焼き方も進化させています。天候や風の影響を受けやすかった屋外でのたき火から、今では小屋の中のまきストーブと昔ながらの焼き芋窯を活用する形に変更。じっくりと焼き上げる、蜜たっぷりの焼き芋が完成するようになりました。

さらに昨年からは、収穫したお芋を大きさで選別し、焼き芋には大きすぎるものは「干し芋」にするという取り組みも開始し、大変ご好評をいただきました。今年も引き続き実施する予定です。

焼き芋や干し芋の提供・販売は不定期開催ですが、もし開催のタイミングが合えば、飛び入り参加也大歓迎です。ぜひお気軽にお立ち寄りください。



短歌クラブ 会員募集

短歌だけでもOKです。
場所…北川保健センター
(ポランティアルーム)
日時…毎月第一火曜日
午前10時～30分程度
窓口…柏木顕彰会店(中村まで)
0887・38・2413

ながそでのあつさすぎさるあさゆうの
こどももとめしこたつださんや

中村 武志

心臓の鼓動もときに止まったり
我が生ゝもはやゝひいふうなるや

内藤 明信

曾祖父も祖父母も母もみんなみな
暮らしの中に猫は存在

浜渦 静子

なんとなくかすかな記憶よみがえる
そんな気のする吾の誕生日

新田 文江

道ぶちに色とりどりできれいだな
コスモス咲いていやされるなあ

山崎 昌子

短歌教室





ゼイン・セリダ

Zane
Sereda

ALT
外国語指導助手

Merry Christmas Kitagawa!

この広報を読みながら、皆さんこたつにくるまれているでしょうか？実は、2024年8月に北川村に来てから、まだ一度もカナダの実家に戻っていません。今年の12月には家族に会いに行き、クリスマスとお正月を一緒に過ごす予定です。1年半も日本に住んでいたの、帰国するのは不思議な感じがするのかなと思っています。高知県や北川村で過ごした素晴らしい思い出を、家族や友人にたくさん話したいと思っています。

今回の広報では10月の出来事を、紹介したいと思います。

1 つ目は、ある週末に東洋町のホテルで一人で過ごす予定でしたが、馬路村・奈半利町・安田町のALTたちも一緒に来ることになりました。結局、新任ALTたちに魚梁瀬ダムを見せるために車で行き、魚梁瀬で昼食を食べて魚梁瀬森林鉄道に乗った後、493 号線で東洋町まで抜けて、野根山街道の終点で停車しました。北川村の道路や場所をすっかり覚えて、観光客でもなかなか見つけれないような歴史的名所を紹介できたことを誇りに思います。

2つ目は、高知県で人気の「サーフキャンプ」イベントの主催者を務めたことです。県内にはJETプログラムでALTやCIRとして働く外国人が133人いる中、45人の参加者を集め、県内最大規模のJETイベントとなりました。金曜日から土曜日にかけて黒潮町の入野松原キャンプ場でサーフィンとキャンプを楽しみ、翌日は高知市に新しく赴任したALT2人を幡多地域に案内しました。県内を車で運転する際、主要なランドマークにたどり着くのには地図を使わなくても行けることが増え、県内を案内できる知識と能力を身に付けたことに喜びを感じています。11月下旬には、11月30日に開催される「モネの冬花火」へJETのメンバーを招待するイベントを計画していますので、とても楽しみにしています。

毎週木曜日午後6時半から7時半まで、北川村村民会館で英会話教室をしています。興味のある方はお気軽にお越しください。



サーフキャンプ in 黒潮町

.....



コビ・セナ

Coby
Sena

CIR
国際交流員

深冷の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

ついに寒くなってきましたね！私は暑い天気より、寒いほうが断然好きです。夏の楽しいイベントや祭りも好きだけど、私の故郷モンタナ州の寒い気候のなか長く暮らしていたので、やはり冬の気温の方が慣れています。

最近では週末ごとにさまざまなイベントやパーティー、旅行で忙しく過ごしていますが、中でも最もうれしかったのは家族が高知県に遊びに来てくれたことです。両親は昨年10月に、妹は12月にも訪問してくれましたが、今回は祖父母も一緒に来てくれました。彼らは、日本への旅をゆったり楽しむため、飛行機での移動ではなく、シアトルからクルーズ船で海を渡ってきたのです。私はクルーズ船に乗ったことがないので少しうらやましく思いましたが、家族が楽しんでくれたようでよかったです。彼らは高知県に到着するまでに日本各地に寄港したようで、秋田県のナマハゲなど、日本の文化に触れる機会もあったそうです。また横浜市在住の叔父と叔母も一緒に高知に来てくれたので、約10年ぶりに家族全員そろえることができました。

まず最初に北川村を訪れ、モネの庭を案内しました。その後、村民会館での太鼓を紹介し、中岡慎太郎生家周辺を案内しましたが、残念ながら中岡慎太郎館に入る時間はありませんでした。夕食はいごっそラーメン！家族みんな大絶賛でした。特に、日本各地を何度も旅してきた祖父は「人生で食べた中で一番おいしいラーメンだ」と言っていました。今回の旅では、村内だけでなく、ひろめ市場や仁淀川など、県内の観光名所を訪れ、いの町では土佐和紙の手すき体験もしました。家族と一緒に過ごすことができてうれしかったです。

10月30日(木)、北川村では村の子どもたちを対象にハロウィンイベントを開催し、約30人の子どもたちが参加しました。多くの子どもたちが集まり、ハロウィンを楽しんでくれて本当にうれしかったです。今年のテーマはアメリカで人気の「脱出ゲーム」で、部屋から脱出するために謎を解き、試練を乗り越えなければなりません。子どもたちで協力し合い、無事に脱出に成功しました！みんな本当に素晴らしかったです！ゲームの後は、棒に吊るされたドーナツを口でキャッチしたり、お菓子袋を手でキャッチしたりする遊びを楽しみました。最後はお菓子投げでイベントが終了しました。準備や運営にご協力くださった皆さま、ありがとうございました。来年もまた楽しいイベントを開催できることを願っています。



ハロウィンイベントの様子



家族とモネの庭にて

北川村保小中一体化施設整備基本計画 検討委員会が始まりました

10月28日(火)に村民会館大ホールで、北川村保小中一体化施設整備基本計画検討委員会を開催しました。北川村から教育をなくさないためには、魅力・特色ある教育環境づくりが不可欠です。これまで、保小中一体化の取り組みを進めてきましたが、さらなる連携・一体化に向けて、保育・学校の組織や施設の在り方を考えることとしています。初回は、北川村の教育・施設の現状、令和3年度までの検討状況を踏まえ、今後の進め方について委員・アドバイザーの皆さんと意見交換しました。

引き続き議論を深めてまいりますので、議論の様子をご覧になりたい方はぜひお越しください！

また、子どもたち、教職員の皆さん、保護者の皆さん、さらに、地域住民の皆さんからも広くご意見をいただきたく、今後、意見交換の場を設ける予定です。こちらについては、別途ご案内します。

本件に関する情報については、随時HPを更新していますので、以下のQRコードから「新着情報」をご覧ください！

【参考】検討委員会の当面の予定

	日 時	場 所
第3回	12月15日(月) 18:30～	北川村民会館大ホール
第4回	令和8年1月19日(月) 18:30～	北川村民会館大ホール
第5回	令和8年3月4日(水) 18:30～	北川村民会館大ホール

↓ 詳細はこちら



四国南東部広域観光連携協議会 イベント情報コーナー Vol.30

各地のイベント情報

イベント名	開催時期・期間	場 所	問い合わせ先
美波町商工祭	12月7日(日) 10:00～14:00	薬王寺第3駐車場	美波町商工会 Tel0884-77-0759
海陽町元気になる「和」 とれとれ市&DMVフェス	12月14日(日) 11:00～15:30	鞆奥漁港	海陽町観光協会 Tel0884-76-3050
寧浦全国色紙展	11月29日(土)～ 12月7日(日) 9:00～17:00 ※初日のみ12:00～	安田町文化センター	安田町寧浦全国色紙展 実行委員会 Tel0887-38-6714
なかやま山芋フェスタ	12月14日(日) 9:00～14:00	安田町多目的交流 センターなかやま	集落活動センターなかやま Tel0887-30-1750
安芸キャンドルナイト	12月13日(土)	ごめん・なはり線 安芸駅	安芸観光情報センター Tel0887-34-8344
安芸タートルマラソン	12月14日(日)	安芸市体育館 スタート	安芸市生涯学習課 Tel0887-35-1020
竹灯りの宵	12月1日(月)～ 令和8年1月12日(月) 17:00～22:00	メルキュール高知土佐 リゾート&スパ庭園	芸西村竹あかり実行委員会 芸西村企画振興課内 Tel0887-33-2114



(一社)みなみ阿波観光局
イベント情報掲載



(一社)高知県東部観光協議会
イベント情報掲載

※内容の詳細については、上記問い合わせ先までお問い合わせください。

安芸警察署からのお知らせ

警察の窓口業務の受付時間が変わります！
高知県警察では、一部の窓口業務の受付時間を試行的に変更します。
県民の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

12月1日(月)から 受付時間 **9:00～16:00**
(12:00～13:00を除きます)

《主な対象業務》

○生活安全

保安関係(銃砲等)、風俗営業、古物営業、警備業、探偵業、質屋営業

○交通

自動車運転代行業関係、安全運転管理者関係、道路使用許可、
保管場所証明、除外標章申請、運転免許関係(更新、記載事項変更、
マイナ免許証への持ち方変更)

※この他にも対象となる業務があります。

ご不明な点などは、安芸警察署、警察本部の各窓口、免許センターまでお問い合わせください。

◆問い合わせ先 安芸警察署 TEL 0887-34-0110
警察本部 TEL 0888-26-0110
免許センター TEL 0888-93-1221

詳しくは
HPで→



南国年金事務所のご案内

1000 年・金・だ・よ・り

- 受付時間 ●月曜日～金曜日 8:30～17:15 ●週明けの開所日 8:30～19:00
●第2土曜日(12月13日) 9:30～16:00
- 休業日 土日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
- ご連絡・予約先 TEL 088-864-1111 (ナビダイヤル)
※長時間お待たせすることがないように、予約をおすすめします。

◆出張年金相談日程

相談日	時間	場所	予約先
12月 4日(木)	10:00～12:00 13:00～15:00	安芸市防災センター	南国年金事務所へ申し込み
12月25日(木)	11:00～12:00 13:00～15:00	室戸市役所	南国年金事務所へ申し込み



～新成人の皆さんへ～ 20歳になったら国民年金

国民年金は年を取ったとき、病気や事故で障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、働いている世代みんな
で支えようという考えでつくられた仕組みです。20歳になると日本年金機構から国民年金加入のお知らせが届きます。

国民年金のポイント

◆将来の大きな支えになります

国民年金は20歳から60歳までの方が加入し、保険料を納める制度です。
国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯に
わたって保障されます。

◆老後のためだけのものではありません!

年をとったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害
年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また、遺族年金は
加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族(「子
のある配偶者」や「子」)が受け取れます。

保険料を未納のまま放置する
と、年金を受け取ることができ
ない場合があります。

保険料には学生納付特例制
度、納付猶予制度の他、免除
制度がありますので、詳しくは
年金事務所や住民課までお問
い合わせください。

後期高齢者の歯科健診を受けましょう

後期高齢者医療の被保険者を対象に、歯・歯肉の状態や口腔内の衛生状態等をチェックし、口腔機能の維持・向上、全身疾患の予防等につなげるため、歯科健診を実施しております。

皆さまのお口の健康状態を知る良い機会となりますので、後期高齢者の特性に合わせた歯科健診を受診しましょう。なお、健診結果は、保健指導などに活用しますのでご了承ください。

4,400円が
無料!



●対象者

高知県後期高齢者医療に加入している方

※ただし、次に該当される方は対象外です。

- ・6カ月以上継続して入院されている方
- ・介護施設等に入所中の方

●受診期間

令和7年10月1日(水)～令和8年2月28日(土)

●受診方法

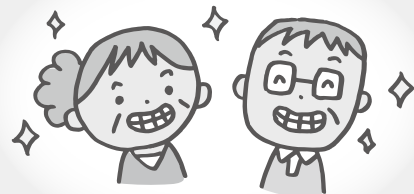
①次の条件に当てはまる方には、事前に受診券を送付します。

- ・昭和22年4月1日～昭和25年3月31日生まれの方
 - ・過去5年間(令和2年度～令和6年度)に後期高齢者歯科健康診査を受診した方
- ※受診券が届かない方は申し込みが必要となりますので、お問い合わせください。

②郵送で受診券が届きます。「受診券」、「問診票」、「実施機関一覧表」のセットです。

③「実施機関一覧表」に記載されている歯科医療機関に連絡し、健診の予約をしてください。

④健診当日は、マイナ保険証または資格確認書・受診券・問診票・入れ歯(持っている場合)・お薬手帳を持参していきましょう。



●自己負担

無料(年1回)

※治療が必要な場合の治療費は、自己負担となります。

※2回目以降は、自己負担となりますのでご注意ください。

●健診内容

- | | | | | |
|--------|-----------------------------|----------------------------|-----------|---------------------------|
| ① 歯の状態 | ② 咬合の状態 <small>こうごう</small> | ③ 咀嚼機能 <small>そしゃく</small> | ④ 舌・口唇機能 | ⑤ 嚥下機能 <small>えんげ</small> |
| ⑥ 口腔乾燥 | ⑦ 粘膜の異常 | ⑧ 口腔衛生状況 | ⑨ 歯周組織の状況 | ⑩ 問診 |

●実施歯科医療機関

受診券と同封の実施機関一覧表に記載されている登録歯科医療機関
お手元に実施機関一覧がない場合は、お問い合わせください。

●健診結果

健診当日、受診した歯科医院で結果説明が行われます。

●お問い合わせ

北川村役場 住民課 (Tel 0887-32-1214)

人権相談のご案内(1月分)

■日時：1月14日(午前10時～午後3時) ■場所：保健センター

※事前予約制 相談日の3日前までに住民課までご連絡ください



高知地方務局安芸支局の職員がご相談をお受けします。セクハラやパワハラ、家庭内暴力、体罰やいじめなど、「自分の悩みは人権侵害かも?」と思ったら、1人で悩まず、お気軽にご相談ください。秘密は守ります。相談は無料です。

保健だより

鼻呼吸で健康に!

風邪などが流行しやすい季節になってきました。皆さんは普段、呼吸を意識していますか?

マスクをしていることが多くなると口元が緩みがちになり、口呼吸になることがあります。本来、呼吸は口ではなく鼻で行うものであり、「鼻呼吸」にはいくつかのメリットがあります。意識して「鼻呼吸」をしてみましょう。

鼻呼吸のメリット



鼻呼吸は健康維持において非常に重要な役割を担っています。

・免疫力の強化

鼻の粘膜がフィルターの役割を果たし、細菌やウイルスの侵入を防ぎます。これにより、風邪や感染症の予防に効果的です。

・自律神経の安定

鼻呼吸はゆっくりとしたリズムで呼吸するため、リラックス効果が高まり、自律神経が整います。ストレス軽減にもつながるため、精神的な安定をもたらします。

・いびきの予防

鼻呼吸を行うことで、睡眠中のいびきを防ぐ効果があります。舌が喉に落ち込みにくく、気道が確保されるため、睡眠の質が向上します。

口呼吸のデメリット



口呼吸の原因として口を閉じる力が低下していることや鼻づまり、口呼吸がクセになっていることなどがあります。

・感染症や風邪になるリスクが高い

口呼吸は空気中の細菌やウイルスが直接体内に入りやすく、病気になるリスクが高くなります。

・いびきや睡眠時無呼吸症候群の原因

口呼吸は睡眠時に舌が後方に落ち込みやすくなり、いびきや無呼吸を引き起こすことがあります。

・口臭の原因

口呼吸は口内を乾燥させ、唾液の分泌が減少します。これにより、細菌が繁殖しやすくなり、口臭の原因となります。

口呼吸から鼻呼吸への切り替え方法

①口の筋肉を鍛える

・あいうべ体操

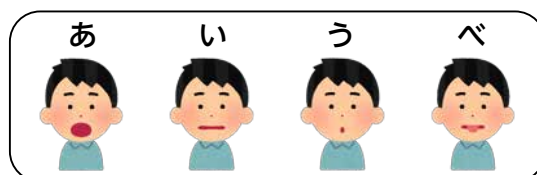
口をなるべく大きく「あ」「い」「う」「べ」と動かしていく。

1日30回繰り返す。

口を開きづらい方は「い」「う」を繰り返してください。

・よくかんで食べる、ガムをかむ

普段の生活の中で口の筋肉を使うのはかむときです。食事をするときに「ご飯は20回かんでから飲み込む」などかむことを意識したり、ガムをかんだりして口の筋肉を鍛えてみましょう。



②鼻づまりを改善

アレルギーや花粉症等で鼻がつまりやすい場合は、病院を受診して適切な治療を受けましょう。

また、鼻うがいや点鼻薬などで鼻の通りをよくしましょう。



みどり保育所
PHOTO通信



みんなには
1歳になりました

田所さんご一家
いとな
愛菜さん(令和6年11月16日生まれ)
家族から一言
「愛菜の成長を楽しみにしています♪」



行事予定表

事業	実施年月日	実施時間	実施場所・備考
乳児健診	12月3日(水)	(受付)12:45～13:15	奈半利町防災センター
野友介護予防教室	12月4日(木)・11日(木)・18日(木)・25日(木)	9:30 ～	北川村保健センター
加茂介護予防教室	12月5日(金)・12日(金)・18日(木)・26日(金)	10:00 ～	加茂農業センター
久府付介護予防教室	12月3日(水)・10日(水)・18日(木)・24日(水)	10:00 ～	久府付婦人の家
柏木・崎山介護予防教室	12月4日(木)・11日(木)・18日(木)・25日(木)	13:30 ～	柏木交流センター
野川さくら会	12月3日(水)・10日(水)・18日(木)・24日(水)	9:15 ～	野川交流センター
長山せせらぎ会	12月2日(火)・9日(火)・18日(木)・23日(火)	9:30 ～	長山交流センター
宗ノ上介護予防教室	12月4日(木)・11日(木)・18日(木)・25日(木)	13:30 ～	宗ノ上集会所
中部けんこうクラブ	12月5日(金)・12日(金)・18日(木)・26日(金)	9:30 ～	小島集会所
島バラ会	12月18日(木)	10:30 ～	北部集会所
ぺちやくちゃ会	12月3日(水)	10:00 ～	北川村保健センター
親子ふれあい広場	12月2日(火)・9日(火)・16日(火)・23日(火)	9:00 ～	北川村保健センター
ゆずみどり	12月2日(火)・9日(火)・16日(火)・23日(火)	9:00 ～	北川村保健センター

高知県の情報
ポータルサイト

Kochi
ebooks



北川村の
広報も
掲載中！

高知イーブックス 検索

